
1-(2) 国内大学連携による日本語普及支援： 海外日本語教育実習生(インターン)派遣

申請書略号 JN-KR

担当：さくらネットワークチーム

日本国内の大学・大学院等で日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、学生や一般層の日本語学習を支援すると同時に、派遣するインターンに海外日本語学習の現場を経験する機会を提供するプログラムです。

申請資格：日本語教師養成課程を有する日本国内の大学・大学院（以下「連携大学等」）

実施方法：基金と連携大学等の間で、インターンの派遣先、時期、期間、人数など実施の詳細を協議し、その内容を盛り込んだ合意書を締結します。

支援内容：往復航空券（エコノミー・クラス割引運賃）、住居費、海外旅行傷害保険料、実施に必要な経費（受入先機関からの請求に基づく）、国内交通費等。

※負担の内容や支払い方法については、各連携大学等と協議のうえ決定します。

選考方針：以下のような観点から審査の上、外部専門家の意見を聴取した上で採否を決定します。

- ・連携大学等における日本語教師養成課程の位置づけ及び内容
- ・連携大学等における参加学生への指導体制
- ・期待される具体的成果
- ・国・地域の日本語普及への波及効果
- ・受入先機関との協力体制
- ・自己資金等、基金以外からの資金調達状況
- ・計画の妥当性（実施内容、実施体制、日程等）

採用件数：約40大学450名（平成23年度採用予定 41大学457名）

申請締切：平成23（2011）年12月1日

結果通知：平成24（2012）年4月下旬

2 海外日本語教師研修

2-(1) 指導的日本語教師の養成

担当：日本語国際センター教師研修チーム

海外の日本語教育において、国、地域のレベルにおける日本語教育の分野で現在指導的な役割を果たしている者、又は将来指導的な役割を果たすと期待される者を対象に、高度な教育、研究能力の育成を図るものです。

この事業には、対象者や研修内容により次の2種類のプログラムがあります。

2-(1)-1 日本語教育指導者養成プログラム(修士課程)

申請書略号 NC-GP

海外の日本語教育機関等の現職日本語教師又は日本語教授経験者を対象として、1年間で日本語教育の修士課程を修了するものであり、将来、各国の日本語教育界において指導的立場に立つ人材の養成を目的としています。

このプログラムは、日本語国際センターと政策研究大学院大学が連携して実施しており、高度で実践的なカリキュラムが組まれています。

申請資格：個人申請ですが、所属機関長の推薦書等が必要です。

このプログラムに申請できる者は、次に掲げる要件を全て満たしていなければなりません。

- (1) 海外の日本語教育関係機関や教育省等の行政機関に属している日本語教師、又は日本語教授歴をもつ者で、所属機関長の申請許可を得ることができること。